

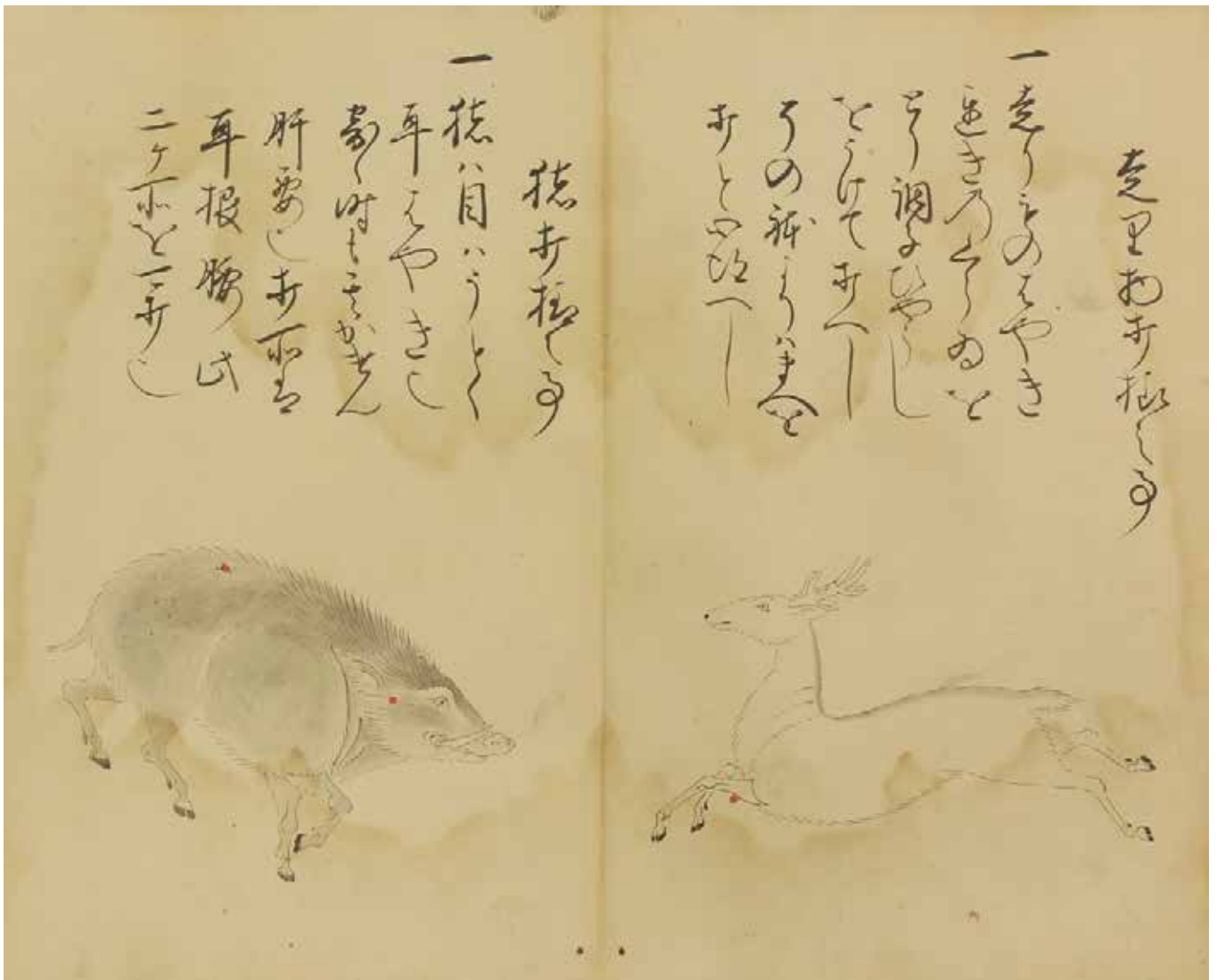
もりおか歴史文館だより

11

Rekibunkan News Vol.

(2019.2.20 発行)

- ◆平成30年度開催企画展のご報告
- ◆イベントレポート もりおか歴史文化館 開館7周年を迎えて
- ◆歴史文館レポート 市民参加型展示・成長する展示を目指して
- ◆インフォメーション



しんてきみょうかりゆうほうじゆつしよ 「心的妙化流砲術書」

5代盛岡藩主 南部行信なんぶ ゆきのぶが創始した心的妙化流の砲術書。文武両道に秀でた行信は、砲術においても諸流を参考にして独創を加え新たな流派を創始した。内容は鉄炮の構え方、狙いの定め方、玉の選定方法、詳細な鉄炮図など多岐にわたる。このように行信は自らが手本となることで武芸を奨励しているが、程度の差こそあれ以降の藩主もおこなっている。これは家臣の武士としての風紀引き締めにつながり、弛緩しつつある藩全体の綱紀刷新の意味も込められていたであろう。

2巻「殺生の巻」には動物を射撃する際の注意点と要点が文章と図で示されており、イノシシの射撃についての頁では、イノシシは「目はうとく耳はやき(目は悪いが耳が良い)」ので近寄るときは気を付けるように、また「耳根(耳の付け根)」と「腰」を狙うようにと記されている。

第24回企画展
「盛岡南部家の生き方・第3部 ー盛岡藩の終焉と南部家が繋ぐ未来ー」

2018年4月19日(木)～7月1日(日)

盛岡南部家歴代当主の実態を掘り下げ、改めて盛岡の歴史を辿る企画展の最終章。戊辰戦争や明治改元から150年目ということもあり、江戸時代後期から幕末期にあたる11代南部利敬から16代利恭を掘り下げました。激動の時代、盛岡では何が起こっていたのかを、さまざまな資料をもとに紹介しました。



第25回企画展
「衣装と意匠ー武家のよそおいー」

2018年7月28日(土)～9月24日(月・祝)

当館開館後に岩手県指定有形文化財に指定された「提帯」「具足下着」を一堂に集めて展示するとともに、資料の一部は江戸時代の人の平均身長、殿様の推定身長に調整したマネキン・複製品を用いて展示することで着用イメージを立体的に紹介しました。衣服規制や有職故実に関わる資料、盛岡南部家ゆかりのさまざまな形・素材・色・模様・用途の衣装を通して、謎に包まれた殿様・若君・姫君の生活の一端を垣間見ていただきました。



第26回企画展
「器百様 ー土器と鉄器と食器と武器とー」

2018年12月1日(土)～2019年2月11日(月・祝)

通常「容器」を表して使用されることの多い「器」という言葉ですが、「道具」そして「人物の人格や才能」という意味も持っています。本展では、用途も素材も、製作年代も全く異なる様々な道具を「器」をキーワードにして集め、用途や材料ごとにご紹介しました。旧石器時代の考古遺物から、昭和時代の洗濯器や調理器具、今年度制作されたばかりの新作南部鉄器まで幅広い資料を通して、「器」の作者や使用者に思いを馳せていただきました。



もりおか歴史文化館は2011年7月1日に開館し、2018年で7周年を迎えました。これもひとえに支えてくださった多くの皆様のおかげと心から御礼申し上げます。そこで感謝の気持ちを込め、これからも歴史文化館を身近に感じ、楽しんでいただきたく、2018年8月12日に「れきぶん夏祭り」を開催しました。

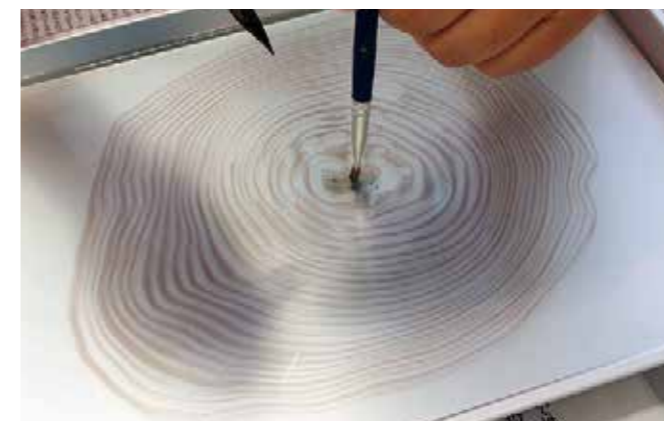
当館にとって初の試みでもあり、職員一同初心に帰り、一丸となって盛り上げようとお揃いのポロシャツを着て臨みました。また、館をあげてのイベントということで2018年7月から活動を開始した歴史文化館サポーターズ「ふたば」の会員、博物館実習に来ていた大学生の皆さんにも手伝っていただきました。

外でのイベントもあるので晴れてほしい!と願ったおかげか当日は素晴らしい好天に恵まれました。気温も最高30度超えと熱中症や日射病などにならないよう呼びかけながら、外では「昭和の遊び体験」を開催。スマートボールや射的、コマ廻し、しゃぼん玉、リム転がしなどを行いました。「リム転がし」は「輪回し」「車輪回し」と呼ぶのではないかと、そもそもやったことがないという職員が多数を占めるなか、練習を重ねて当日を迎えました。お客様もほぼ

初めて体験する方が多く、難しくされていました。コツをつかんだ方はスムーズに転がしていらっやいました。

涼しい館内では「笑顔の似顔絵プレゼント」「墨流しで遊ぼう!」「納涼ギャラリートーク」「れきぶんナイトミュージアム・歴史文化館おしゃべり鑑賞会」など、歴史文化館で丸1日楽しめるイベントを多数ご用意。何回も当館に来て下っている方、初めて来たという方からも笑顔で「楽しかった」というお声をいただき、とても嬉しく、これからも頑張って歴史文化館を盛り上げていこうと改めて気が引き締められました。

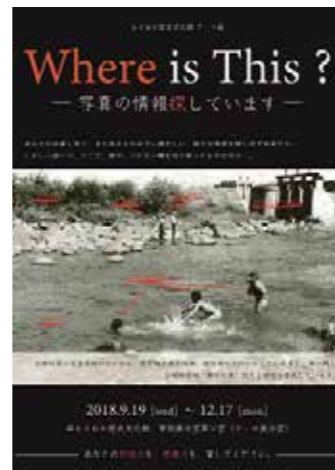
今回の「れきぶん夏祭り」で歴史文化館、そしてそこに働く職員をもっと身近に感じていただくことはできたでしょうか。8周年となる2019年も開催する予定ですので、ご期待ください。



◆歴文館レポート 市民参加型展示・成長する展示を目指して

2018年9月19日から12月17日にわたってテーマ展「Where is this?—写真の情報を探しています—」を開催しました。これは当館収蔵写真資料の中でも詳細不明な写真20点を展示しながら、市民の皆さんから情報を集め、これを通して写真の情報「いつ・どこで・だれが・なにを」撮影したかが資料として大事であることを知ってもらう、市民参加型の展示です。同時に皆さまのご協力によって確定された情報を、順次展示に反映させていく「成長する展示」を目指しました。

効果的な開催場所の設定や情報集約方法など課題も多く残されましたが、当館として初めての試みにも関わらず、寄せられた150件以上の情報をはじめ、大変な反響をいただくことができました。本当にありがとうございました。ここで皆さまのご協力のもと確定できた13点の写真資料の中から、いくつかをご紹介します。



昭和の写真



- 撮影時期:昭和36年(1961)／撮影者:佐々木清八
- 撮影場所:岩手県盛岡市内丸の岩手公園(盛岡城跡公園)亀ヶ池付近
- 被写体:岩手県産業会館(サンピル)の建設現場を撮影。
—中央奥には大通りにあった佐々木電機。左の瓦葺の建物は大通りにあった深草旅館。

現在の写真



昭和の写真



- 撮影時期:昭和34年(1959)／撮影者:佐々木清八
- 撮影場所:岩手県盛岡市浅岸二ツ森の薬師神社(在聴権現)
- 被写体:鳥居前にあった池で釣りをしている様子を撮影。
—池は現在埋め立てられ駐車場となっている。水の神である龍神が現在も祀られている。

現在の写真



昭和の写真



- 撮影時期:昭和34年(1959)／撮影者:佐々木清八
- 撮影場所:岩手県盛岡市馬場町・中津川左岸の下橋中学校付近
- 被写体:中津川における川釣りの様子を撮影。
—対岸には当時の岩手女子高等学校。右奥に写る大木(エゾエノキ)は現存。

現在の写真



昭和の写真



- 撮影時期:昭和36年(1961)／撮影者:佐々木清八
- 撮影場所:岩手県盛岡市肴町・中津川左岸の杜陵小学校付近
- 被写体:雪によって路面が凍った中津川沿いの道を撮影。
—右奥に木造の頃の毘沙門橋(さらに奥に下ノ橋)。左側に杜陵小学校を囲う柵(一部現存)。

現在の写真



昭和の写真



- 撮影時期:昭和44年(1969)／撮影者:佐々木清八
- 撮影場所:岩手県盛岡市本町通・現在の本町通三丁目バス停付近
- 被写体:岩手国体に向けた本町通りをつなぐ道路工事現場を撮影。
—右奥には当時の四ツ谷教会の屋根と十字架。左側には川口印刷の建物。

現在の写真



◆インフォメーション

【刊行物(残部あり)紹介】

種別	誌名	頁数	価格
図録	企画展『あの日あの時の盛岡 一明治・大正・昭和の風景一』	32頁	500円
図録	企画展『あの日あの時の盛岡 一馬のいた風景一』	23頁	500円
図録	企画展『旅の枝折 一みちのく観光のみちしるべ一』	32頁	500円
図録	企画展『盛岡の指定文化財 一未来へのおくりもの一』	38頁	700円
図録	企画展『盛岡南部家の生き方・第1部 一乱世を切り抜けた南部家と盛岡のはじまり一』	64頁	1000円
図録	企画展『南部鉄器 一時代を超えた鉄の美一』	64頁	1000円
図録	企画展『盛岡南部家の生き方・第2部 一揺らぐ盛岡藩に立ち向かう南部家一』	64頁	1000円
図録	企画展『ANIMALs×morioka 一資料のなかの動物たち一』	40頁	700円
図録	企画展『盛岡南部家の生き方・第3部 一盛岡藩の終焉と南部家が繋ぐ未来一』	64頁	1000円
図録	企画展『衣装と意匠 一武家のよそおい一』	40頁	700円

◎刊行物のお求め方法

- 直接購入のご案内：もりおか歴史文化館のミュージアムショップで販売しています。
- 郵送でのご購入：電話(019-681-2100)またはE-mail(info@morireki.jp)で事前にお求めの図書の在庫状況をご確認ください。

【2019年度企画展・特別展・テーマ展スケジュール】

企画展「殿さまのギフト 一贈り物にみる盛岡藩・南部家の結びつき一」	2019年4月20日(土)～6月23日(日)
企画展「あやしきものども 一江戸の奇譚・怪談一」	2019年7月19日(金)～9月16日(月・祝)
企画展「盛岡と北海道 一盛岡藩と蝦夷地の関係・交流史一」	2019年12月21日(土)～2020年3月8日(日)
特別展「南部鉄器青年展」	2019年10月6日(日)～10月27日(日)
テーマ展「人形 一節句を彩る一」	2019年2月20日(水)～5月20日(月)
テーマ展「改元と新元号」	2019年5月22日(水)～6月17日(月)
テーマ展「Animals 一盛岡藩の生き物たち一」	2019年6月19日(水)～8月19日(月)
テーマ展「観賞 一日本の四季一」	2019年8月21日(水)～10月14日(月・祝)
テーマ展「新収蔵資料展」	2019年10月16日(水)～12月16日(月)
テーマ展「ゆくとし 来るとし めでたづくし」	2019年12月19日(水)～2020年2月17日(月)
テーマ展「桃と端午の節句」	2020年2月19日(水)～5月18日(月)

ご利用案内

〈開館時間〉4月～10月 9:00～19:00(2階歴史常設展示室への入場は18:30まで)
11月～3月 9:00～18:00(2階歴史常設展示室への入場は17:30まで)

〈休館日〉毎月第3火曜日(祝・休日の場合は翌日) 12月31日～1月1日

〈入館料〉入館は無料です。

2階展示室のみ有料となり、右記の入場料が必要となります。

	個人	団体(20人以上)
小・中学生	100円	80円
高校生	200円	160円
一般	300円	240円

- 障がいをお持ちの方やその介護をなさる方(付添いを含めて2人まで)は、無料で入場できます。
- 盛岡市在住で65歳以上の方は、入場料が免除されますので、係員に証明書等をご提示ください。
- 盛岡市内の学校に就学している小・中学生の方は、入場料が免除されます。
- 企画展をご覧になる場合は、別途入場料が必要となる場合があります。

〈交通のご案内〉

- 電車をご利用の場合 ○JR盛岡駅下車 徒歩20分
 - バスをご利用の場合 ○岩手県交通・岩手県北バス
 - お車をご利用の場合 ○盛岡IC・盛岡南ICから車で25分
- ※当館の敷地内に一般車両の駐車スペースはございません。隣接する「盛岡城跡公園地下駐車場」(有料)など近隣の駐車場をご利用ください。



もりおか歴史文化館

〒020-0023 盛岡市内丸1番50号
Tel:019-681-2100 Fax:019-652-5296
<https://www.morireki.jp/>